

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年10月11日（月）
- 2 確認箇所
1 / 2号機超高压開閉所
- 3 確認項目
仮設集積場所[※]における廃棄物の管理状況

4 確認結果の概要

令和3年3月に発生した瓦礫類一時保管エリアW2に保管されていたコンテナからの放射性物質の漏えいや同年7月に発生した瓦礫類一時保管エリアP2に保管されていたノッチタンクからの放射性物質を含む雨水の溢水の対応（外観目視点検、内容物確認等）を優先的に取り組んでいる都合上、瓦礫類一時保管エリアの整理作業が停滞している。そのため、仮設集積場所での廃棄物の仮置きが長期に渡り、仮置き量も増加している。

本日（10月11日）は、現在管理されている仮設集積場所のうち、平成27年に設置され、長期に渡り運用されている仮設集積場所の1つである1 / 2号機超高压開閉所内の仮設集積場所の管理状況を確認した。（図1、写真1）

- ・ 1 / 2号機超高压開閉所の仮設集積場所については、建屋内に設置されており、入口扉付近には関係者以外立入禁止の標識が設置され、プラスチックチェーンで区画されるとともに、廃棄物保管箇所には仮設集積場所を示す標識、空間放射線量率の測定結果が掲示されていた。（写真2）
- ・ 保管されている廃棄物はバッテリーのみであり、確認した範囲で保管状況に異常等は見られなかった。（写真3）
- ・ 東京電力によると、現在、バッテリーの処分方法や手順を検討しているとのことである。

※ 仮設集積場所：工事等により発生する廃棄物は、可燃物や不燃物等の種類や表面線量率によって分別し、原則、速やかに瓦礫類一時保管エリアへ保管することになっているが、工事の都合及び瓦礫類一時保管エリアでの廃棄物の保管状況により、すぐに瓦礫類一時保管エリアへ運搬出来ない場合には周辺環境に影響が及ばない措置を講じて廃棄物を仮置きする場所



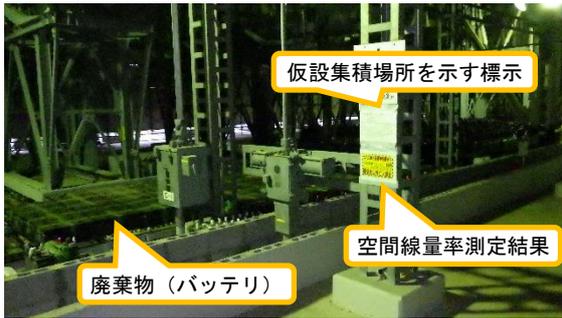
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
1/2号機超高压開閉所の外観
(南東側から撮影)



(写真2-1)
仮設集積場所入口扉付近の状況



(写真 2 - 2)
仮設集積場所周囲の状況



(写真 3 - 1)
保管されている廃棄物（バッテリー）
の一例①



(写真 3 - 2)
保管されている廃棄物（バッテリー）
の一例②

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。